PROSPEC

余計なノイズも、取れる・録れる!!
デジタルビデオエディター DVEシリーズ

DVE795

取扱説明書

～付録～

各入力選択時の出力について…… 50～51
使用中のトラブルと回避方法…… 52～53
Q＆A …… 54
使用できるケーブルの種類…… 55
用語説明…… 56～57
お問い合わせ…… 裏面

●このたびはプロスペック デジタルビデオエディターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●本製品を正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは大切に保管してください。

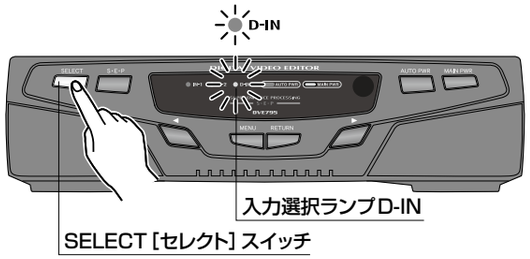
http://www.prospec.co.jp

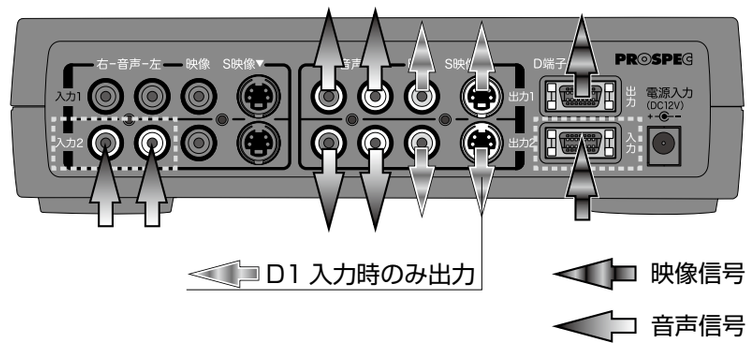
各入力選択時の出力について

それぞれの入力選択時における出力動作です。

● D-IN 選択時

D端子入力(D-IN)を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。

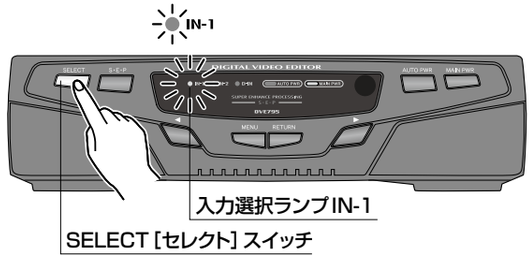


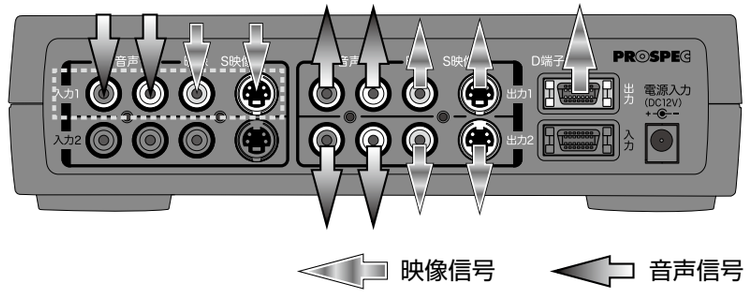


入　力	D端子入力に接続している再生機器の映像、入力２に接続している再生機器の音声を入力する。
出　力	D1 映像入力時は全ての映像端子から映像が出力される。D2 以上の映像入力時はD端子出力からのみ映像が出力される。音声は全ての出力端子から出力される。
例　外	「映像出力」設定(**20**ページ参照)をD2 以上に設定すると、D1 映像入力時であっても映像出力はD端子からのみとなります。

● IN-1 選択時

入力 1(IN-1)を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。

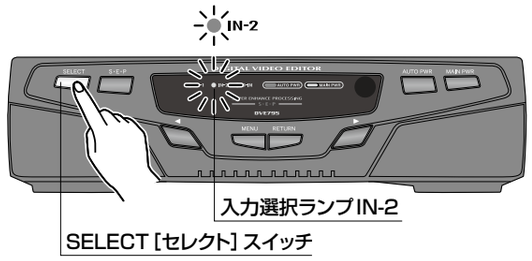


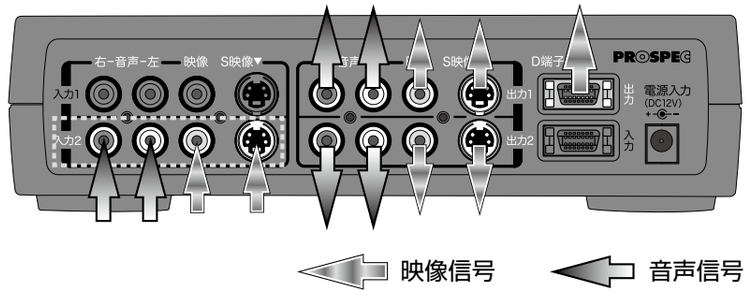


入　力	入力 1 に接続している再生機器の映像・音声を入力する。映像はピン端子・S端子を同時に接続するとS端子のみの入力となる。
出　力	出力 1・出力 2・D端子出力全てから出力される。
例　外	「映像出力」設定(**20**ページ参照)をD2 以上に設定すると、映像出力はD端子からのみとなります。

● IN-2 選択時

入力 2(IN-2)を選択時の映像および音声出力については、以下を参照してください。





入　力	入力 2 に接続している再生機器の映像・音声を入力する。映像はピン端子・S端子を同時に接続するとS端子のみの入力となる。
出　力	出力 1・出力 2・D端子出力全てから出力される。
例　外	「映像出力」設定(**20**ページ参照)をD2 以上に設定すると、映像出力はD端子からのみとなります。

使用中のトラブルと回避方法

故障かな？…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

電源に関して

●MAIN PWR[電源]スイッチを押しても電源が切れない

・電源を切る場合はMAIN PWR[電源]スイッチを 2 秒以上押してください(**9**ページ参照)。
・オートパワー機能をONにした状態で、映像を入力していませんか?(**24**ページ参照)

●電源が入らない

・付属のACアダプターを使用していますか？　付属のACアダプター以外は使用できません。
・ACアダプターは確実に接続されていますか?

録画に関して

●ハードディスクには直接録画できるが、DVD-R 等には直接録画ができない

・一部のハードディスク内蔵レコーダーは、その仕様により特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。その場合は、一旦ハードディスクに録画してからその映像をDVD-Rに録画してください。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

テレビ画面に表示される映像に関して

●ワイド映像 (16：9) が縦長 (4：3) に映る

・録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、録画機器の長時間記録モード使用時や、記録メディアの種類(CPRM 非対応のDVD-R使用時など)によっては、ワイド識別信号が記録されない場合があります。詳しくは録画機器やテレビの取扱説明書をご参照ください。

●映像に波状のノイズが現れる

・付属品以外のACアダプターを使用していると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
・1 つのテーブルタップに他の機器と合わせて接続していると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
・一部の再生機器(テレビチューナー等)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

・再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。
・D端子を使用している場合は一度外して接続しなおしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

・再生機器または録画機器のDNR（デジタルノイズリダクション）機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR 機能をOFF にしてください。

●ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生(特殊効果)をおこなうと、乱れた映像が出力される

・アナログソースに特殊効果を加えて本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。このような場合は特殊効果を加えずに再生してください。

●映像が一瞬途切れてしまうことがある

・録画機器とテレビとをHDMIケーブルで接続している場合、テレビの電源のON ／ OFF等で一瞬途切れることがあります。この場合は、編集時のみHDMIケーブルを使用せずに他の映像ケーブル(S端子ケーブル/ピン端子ケーブル/D端子ケーブル)に入れ替えてください。

テレビ画面に表示される映像に関して　つづき

●映像が出力されない

・録画機器の設定を、本機とケーブルで接続している入力端子にリンクしている外部入力チャンネル(L1、L2 など)に設定していますか？設定方法は録画機器の取扱説明書をご参照ください。
・本機のパワーランプは緑色に点灯していますか？赤色に点灯している場合は電源が入っていません。消灯している場合はACアダプターが接続されていません。
・ケーブルの接続を見直してください。
・録画機器の一部機種では、入力した映像が「セパレート信号(S端子ケーブル使用時)」か「コンポジット信号(ピン端子ケーブル使用時)」かを手動で切り替える必要がある場合があります。録画機器の取扱説明書をご確認ください。
・録画機器の一部機種では、HDMI端子やD端子を使用しているとS端子出力やピン端子出力から映像が出力されない場合があります。そのような接続をしているときは、録画機器側のS端子出力またはピン端子出力とテレビとを直接接続し、映像がテレビに表示されるかどうか確認してください。映像がテレビに表示されない場合は、録画機器側の「映像出力設定」を変更してください。

●ハイブリッドレコーダー 1 台で編集した映像に字幕が表示されない

・ハイブリッドレコーダーとテレビとをHDMIケーブルまたはD端子ケーブルで接続している場合、ハイブリッドレコーダーの仕様によってはピン端子出力またはS端子出力から字幕が出力されない場合があります。ハイブリッドレコーダーとテレビとをS端子ケーブルまたはピン端子ケーブルで接続してください。

●本機の電源を OFF にすると映像が表示されなくなる。音声は聞こえる

・本機の電源をOFFにすると入力した映像をそのまま出力しますが、入力側映像ケーブルと出力側映像ケーブルの種類が異なる場合は映像が出力されません。

●ピン端子で映像を入力しても映像が出力されない

・同一の入力系統にS 端子ケーブルとピン端子ケーブルを両方接続していませんか？ S端子ケーブルを接続するとS端子入力を優先します。

● VHS ビデオなどのアナログソースを入力し、超解像処理を加えて出力するとチラツキが強調される

・VHSビデオなどのアナログソースの場合は映像に多少のノイズが入っていますので、そのノイズが強調されてしまい、結果チラツキが強く現れる場合があります。

●ハイブリッドレコーダー 1 台で編集する際、乱れた映像が表示されますが故障ですか？

・ループ接続による副作用(ハウリング)ですので故障ではありません。再生スタートと同時に正常な映像に戻ります。

●地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーで、取扱説明書通りに接続しても編集ができない（外部入力に切り換えても映像が表示されない）

・地デジチューナー内蔵ハイブリッドレコーダーの録画方式をデジタルハイビジョン方式（TS方式/AVCREC方式/DR方式）に設定していると、レコーダーがアナログ入力を受け付けない場合があります。アナログ標準録画方式（VR方式）に切り替えてご使用ください。

●ハイブリッドレコーダー 1 台での編集が出来ない

・**37**ページをご参照ください。

●超解像処理を加えると映像が荒くなる

・映像ソースの画質や映像出力設定(**20**ページ参照)によっては映像が荒くなる場合があります。超解像設定は適切に使用してください。

Q & A

Q. 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器でタイマー録画をおこなうには？

A. オートパワー機能をONに設定してください(**24**ページ参照)。

Q. レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は？

A. レンタルビデオは再生する頻度が高く、テープ自体が劣化(傷んでいる)可能性がありますので、経年劣化したテープと同様に本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズが現れたり映像が乱れたりします。
また、本機の超解像処理機能を使用することでノイズが強調されてしまう場合もあります。

Q. 本機に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？

A. 各機器に付属している取扱説明書を参照するか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

Q. リモコンの電池交換時期は？

A. 使用頻度により交換時期が異なります。明らかに反応が悪くなったときが交換時期です。

Q. 地上デジタル放送などの左右/上下黒帯表示(サイドパネル表示/レターボックス表示)を削除することはできますか？

A. 映像の合成やカットなどの加工は一切できません。

Q. 本機を使用しないときはACアダプターを外したほうが良いですか？

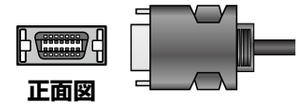
A. 長期間使用しない場合はACアダプターを外しておいてください。通常の使用状況ではACアダプターを接続したまま電源を切っておいてください。

使用できるケーブルの種類

本機と再生機器/録画機器/テレビを接続するために必要な端子例です。

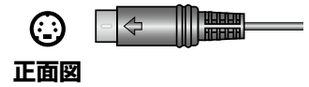
● D 端子：映像用

映像接続用の端子です。S 端子と比べ、さらに高画質な映像を楽しめます。(別途ご用意ください)



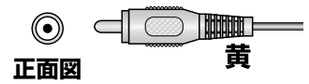
● S 端子：映像用

映像接続用の端子です。ピン端子と比べ、より高画質な映像を楽しめます。(1 本同梱されています)



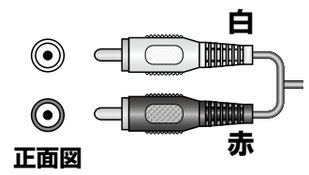
●ピン端子（黄）：映像用

映像接続用の端子です。(1 本同梱されています)



●ピン端子（赤・白）：音声用

音声接続用の端子です。**赤→右音声**·**白→左音声**に対応しています。(1セット同梱されています)



⚠ D端子←→コンポーネント変換ケーブルは使用できません。

用語説明

●アルファベット

1080i	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 1080 本(総走査線 1125 本)、フレーム周波数 29.97Hzの飛び越し走査(インターレーススキャン)方式の映像のこと。
3D ノイズリダクション(ノイズ低減)	動きのある映像部分を 2D ノイズ除去処理、動きの少ない映像部分を 3D ノイズ除去処理することで、残像現象を抑えつつクリアな映像に補正する機能。
480i	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 480 本(総走査線 525 本)、フレーム周波数 29.97Hzの飛び越し走査(インターレーススキャン)方式の映像のこと。
480p	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 480 本(総走査線 525 本)、フレーム周波数 59.94Hzの順次走査(プログレッシブスキャン)方式の映像のこと。
720p	デジタルテレビ放送の映像信号形式の 1 つで、有効走査線 720 本(総走査線 750 本)、フレーム周波数 59.94Hzの順次走査(プログレッシブスキャン)方式の映像のこと。
AGC	オートゲインコントロールの略。電子回路の一種で、入力信号のレベルの大小にかかわらず出力を常に一定に保つための補助回路のこと。
D端子	映像を構成しているRGBの色情報を色信号Y、そしてR-YとB-Yという２つの色差信号､合計３つの信号で伝送することで高画質を実現した映像端子。
DVDプレーヤー	DVD-Video(ディーブイディービデオ)を再生する装置。再生専用機のこと。
DVDレコーダー	記録型DVDに動画などを記録できる装置のこと。ハードディスクを内蔵しているタイプが主流。
DVD	Digital Versatile Disc(デジタルバーサタイルディスク)の略。
DVD-R	DVD Recordable Discの通称。1 回記録型DVDフォーマット。DVD-Rで記録されたディスクは、一般的なDVD-VideoやDVD-ROMドライブで再生出来る可能性が最も高い。
ID-1	映像信号に特殊な識別信号を重畳させる機能。
NTSC	National Television System Committee(全米テレビジョン放送方式標準化委員会)が策定したアナログテレビジョン放送標準方式のこと。採用国はアメリカ、カナダ、メキシコ、日本、台湾、韓国、フィリピン、中南米諸国の一部、太平洋諸島の一部など。

●五十音

アップコンバート	DVDビデオなどの低解像度映像をハイビジョン並みの高解像度映像に変換する機能。
インターレース	テレビの走査方式の一つで、画面表示を走査線の奇数段と偶数段の２回に分けて行う(飛び越し走査)方式のこと。滑らかな動きに強いが、チラつきが目立つことがある。
カラーバー	映像システムを評価するための基準となる信号である。モニタ上では色のついた棒状の領域として表示されるため、この名称で呼ばれる。
コンポジット(信号)	映像を構成する輝度信号、色信号、同期信号を合成して、1 本のケーブルで扱えるようにした信号。ピン端子(RCA端子)で送ることができ、伝送品質は標準画質(SD画質)のみ。
コンポーネント(D端子)信号	RGBの３原色信号、輝度信号、色信号などが分離した状態にある信号。伝送路が３本必要となるが、コンポジット信号に比べて画質的には有利。
シャープネス	画像の輪郭などを強調する処理のこと。輪郭部分の階調の差(コントラスト)を高くすることで、見た目のシャープ感を増すことができる。
水平解像度(解像度)	どの程度細かな線が判別できるかを表し、この値が大きいほど高画質となる。
スクイーズ	画面アスペクト比が横長の映像を横幅の狭い伝送系(放送チャンネル、記録メディアなど)で送るために映像を横方向に縮小すること。
セパレート信号	コンポジット映像信号を、輝度信号と色信号の２系統に分離(Separate)している信号。S端子で伝送できる。
セレクター	複数接続してある再生機器の切り替え(選択)をおこなう装置。
超解像	低解像度映像ををアップコンバートしたときに見られるぼやけやエッジの粗さを改善し、見た目の解像度を向上させる機能
ハイビジョン画質	デジタル放送の画像方式で、走査線(テレビ画面を水平に走る線)が大幅に増えており、臨場感あふれる高精細画像を楽しめる。日本国内では、走査線が 750 本の映像が「ハイビジョン」、1125 本の映像が「フルハイビジョン」の愛称で呼ばれている。
ハイブリッドレコーダー	DVDとハードディスクなど、２つ以上の記録装置を内蔵したビデオレコーダー。
パワーガード機能	本機の機能の 1 つ。パワー ON中に万が一停電しても、停電復旧後自動的にパワーがONになる。
ピン端子	映像・音響機器などで広く使われている電気信号をやりとりする端子。
メモリーガード機能	本機の機能の 1 つ。電源の供給を遮断しても設定値がクリアされない。
レターボックス	映像メディアの表示画面において他の画面サイズ規格でつぶれて表示されないよう、表示互換性をとるために本来の（横長比率の映像の）撮影された映像部分の上限・下限部に黒帯を追加した状態のもの。
ワイド信号	S1/S2/ID-1 など、４：３と 16：９の映像を識別する信号。

PROSPEC

PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2　TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社（月～金曜日 AM10:00～ PM12:00 PM1:00～ PM5:30 土日祝祭日を除く）
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11　TEL.086-445-1509
※出張による修理や設置サービス等はおこなっていません。※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL http://www.prospec.co.jp/

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製（コピー）・転用・転載を禁じます。

DVE795-1012-AN-KO-5100